学校番号	T1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	ものづくり応用	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

切削加工技術の習得、溶接技術の習得をめざす。具体的には段付軸を旋盤で削り製作、アーク溶接等で鋼板・パイプの溶接、立体模型等を製作する。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
切削加工や溶接の基本的な知識・技術を習得し、実践的な場で活用する能力を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】
作品を加工していく中での問題や、工業技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、技術者として適切に判断する力を養い、表現する創造的な能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する技術の向上をめざし、主体的・実践的に取り組もうとする態度を養い、身につけようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	切削加工や溶接の基本的な技術を理解し、技術を習得する。	切削加工や溶接の実習を行っていく中で、課題を見いだし、解決する力を養う。	基本的な工業に関する技術の向上をめざし、自らが学ぶ態度、主体的に取り組む態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
10月	製作図と作業工程	・図面の理解、作業工程の理解 ・帯ノコ盤を使って材料を切断	a:製作図を理解し、作業に入ることのできる必要な知識を養う。 b:図面の見方を考え、正確に判断し、表現することができる。 c:製作図と作業工程について関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
11月	旋盤加工	・外周切削で段付加工	a:旋盤において必要な知識を養い、基本的な技能を身につける。 b:旋盤を用いて、加工量や、仕上がり寸法を考え、正確に判断できる。 c:切削機械の旋盤に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
12月	旋盤加工	・溝加工、面取り	a:旋盤において必要な知識を養い、基本的な技能を身につける。 b:旋盤を用いて、加工量や、仕上がり寸法を考え、正確に判断できる。 c:切削機械の旋盤に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
1月	溶接作業	・アーク溶接の基本作業	a:ストレート・ウィービングビートの方法を知り、技能を高める。 b:理想的なビートをするには、どのようにすればよいか考え、表現する。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
2月	応用実習	・部品準備、組立作業	a:これまで学んだ技能を活かして、アーク溶接に必要な知識・技能を身につけることができる。 b:アーク溶接の応用実習について、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:アーク溶接に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度